

平成 21 年度アジア研究センター活動報告

今野 喜和人

巻頭言に記したように、「人文学部アジア研究センター」は 2009 年 5 月 14 日に発足した。同センター規則の中核となる 2 章（それぞれ目的と構成を規定）は以下の通りである。

「第 2 条 センターは、東アジア及び東南アジアの社会・文化・経済を主たる研究対象とし、我が国を含むアジア地域における豊かな社会の構築のための包括的な理論的・政策的研究を行なうことを目的とする。」

「第 3 条 センターは、人文学部及び人文社会科学研究科に所属する主に東アジア又は東南アジアの諸問題に研究領域を有する専任教員（以下「センター研究員」という。）によって構成する。」

このコンセプトの下、人文学部構成員から、同センター研究員を募ったところ、22 名の教員が登録を行った（社会学科 11 名、言語文化学科 5 名、経済学科 6 名——2009 年 11 月現在）。研究テーマは歴史、社会、心理、文学、言語、経済、環境問題など、極めて多岐にわたっている（表 1）。

以下、平成 21 年度の活動記録を概要のみ記す。

5 月 14 日 人文学部教授会にて「人文学部アジア研究センター規則」承認。アジア研究センター正式発足。

5 月 21 日 人文・農学部共同アジア研究第 3 回報告会開催。

報告者：瀧川 雄一（農学部教授）

水永 博己（農学部教授）

大野 旭（人文学部社会学科教授）

5 月 21 日 タマサート大学（タイ）ソムチャイ教授、人文学部を訪問。上記研究会を見学。

センターの今後の運営について協議（11 月 10 日にタマサート大学内に静岡大学タイ事務所設立）。

6 月 25 日 平成 21 年度人文学部競争的配分経費（学部としての重点課題）として、アジア研究センター採択分 6 事業を決定（表 2：当初配分）。

9 月 24 日 経済グループ企画による研究報告会開催。

報告者：鐵 和弘（人文学部経済学科准教授）

遠山 弘徳（人文学部経済学科教授）

11 月 9 日 平成 21 年度教育研究基盤経費（教育学部研究代表部局分）「アジア各国との教育研究面での連携の推進—東部キャンパス各部局への「アジア連携室」設置を通じて—」による追加配分 10 事業を決定（表 2：追加配分）。

- 12月5日 歴史教育に関する講演会開催。
講師：桃木 至朗（大阪大学大学院文学研究科）
- 1月29日 シンポジウム「日本とアジアの相互の照射—近代日本とアジアはお互いをどのように捉えてきたか—」開催。
パネリスト：村田 雄二郎（東京大学大学院総合文化研究科教授）
趙 景達（千葉大学文学部教授）
馬場 公彦（岩波書店編集部課長）
楊 海英（人文学部社会学科教授）
鈴木 清史（人文学部社会学科教授）
上利 博規（人文学部社会学科教授）
- 3月30日 人文・農学部共同アジア研究第4回報告会開催。

(表1) アジア研究センター登録教員一覧

氏名	学科	研究テーマ
上利 博規	社会	アジアの芸術文化、生活文化、思想
岩井 淳	社会	海域アジアとイギリスの交流史研究
大野 旭	社会	①アジアにおける開発と民族問題 ②近現代アジアにおける国際関係と民族問題
重近 啓樹	社会	中国古代の地方行政と租税・徭役 中国古代の家族と死生観
鈴木 清史	社会	住民参加型環境保全プログラムの構築について
滝沢 誠	社会	古代東アジアにおける交流と社会変動に関する考古学的研究
竹ノ下 弘久	社会	東アジア社会における社会階層と社会移動
戸部 健	社会	中国における義務教育体制の構築とそれに対する日中戦争の影響について
橋本 剛	社会	東アジアにおける文化心理学的特徴が対人関係と心理的適応の関連に及ぼす影響
原 知章	社会	(1) アジア太平洋戦争後の沖縄・読谷村の社会・文化変容に関する民族誌的研究 (2) ハワイにおける沖縄系コミュニティの持続と変容に関する民族誌的研究
星野 和実	社会	アジア移民高齢者に対する社会文化支援モデルの構築
今井 敬子	言語	①中国語の談話・文章の研究 ②日中両語の対照研究(言語行動、コミュニケーションを中心に)
岡崎 真紀子	言語	日本古代中世の言語文化における東アジア仏教の受容
勝山 幸人	言語	東～東南アジア諸国における日本語教員の養成と教育環境・カリキュラム改善を目標とした調査ならびに研究
桑島 道夫	言語	近現代中国文学・文化、日中比較文学・文化、東アジア研究
森口 恒一	言語	東南アジア、及び、東アジアのオーストロネシア原住民の言語、文化、社会の研究
河村 祥子	経済	経済発展と企業組織革新との相互作用に関する研究
鐵 和弘	経済	アジアの低所得国における有効な開発戦略
寺村 泰	経済	第二次大戦後から現在にいたる日本とアジア地域との通商・貿易関係の変質と特質に関する研究
遠山 弘徳	経済	東アジア経済の多様性と成長
朴 根好	経済	(1) アジアの経済発展の比較研究、(2) アジアの産業発展とネットワーク (3) アジアのソーシャル・エンタープライズ
黄 愛珍	経済	中国の持続可能な発展のための政策研究

(表2) 2009年度実施事業・研究一覧

No.	区分	申請者	事業名
1	当初配分	星野和実	Socio-cultural Support Model for Asian Immigrants Older Adults (アジア移民高齢者に対する文化社会支援モデルの構築)
2	当初配分	重近啓樹	日本秦漢史学会第21回大会開催に伴う補助申請
3	当初配分	上利博規	アジアにおける近代化と伝統文化に関わる諸問題
4	当初配分	桑島道夫	華人の規範とアイデンティティ(家)や在日の階層・対日言説を焦点として
5	当初配分	寺村 泰	アジア地域経済統合の背景に関する実証的研究及び政策提言
6	当初配分	鐵 和弘	ベトナム(フエ)のストリート・チルドレン自立支援団体「子どもの家」訪問とそこでのボランティア活動
7	当初配分	戸部 健	歴史教育に関するシンポジウムの開催
8	追加配分	鐵 和弘	台湾の経済発展と国際貿易に関する研究
9	追加配分	勝山幸人	アセアン高等教育機関における第二言語、主に日本語習得に関する問題把握のための基礎的調査
10	追加配分	鈴木清史	うつろうパートナー：オーストラリア・日本・中国
11	追加配分	遠山弘徳	先進国の金融危機が東アジア経済に与える効果に関する制度的・計量的分析、および同分析にもとづく安定的経済成長のための経済制度設計に関する予備的研究
12	追加配分	朴 根好	韓国型経済発展に関する実証的研究のための海外フィールドワーク調査
13	追加配分	星野和実	Socio-cultural Support Model for Asian Immigrants Older Adults(アジア移民高齢者に対する社会文化支援モデルの構築)
14	追加配分	大野 旭	学術シンポジウム「日本とアジアはお互いをどのように捉えてきたのか—日本・中国・朝鮮の相互反射から見る21世紀」(仮題)の開催
15	追加配分	黄 愛珍	中国都市の新しい公共交通システムの一検証—公共自転車(Public Bicycle)の導入に関する杭州市の取組を通じて—
16	追加配分	桑島道夫	アジア研究センター共同研究プロジェクト「華人の規範とアイデンティティ」実施のための環境整備
17	追加配分	鈴木清史	パキスタンにおける人間の安全と農業開発 ラホールでの事例研究